

| | | | |
|---|--|-------|---------------|
| 科目名：保育原理Ⅱ(指導案の作成) | | 講義・演習 | 担当教員名： 須藤 眞紀美 |
| | | | 実務経験： 有 |
| 2年次 | 前期 | 2単位 | 選択必修 / 必修 |
| 授業の到達目標及びテーマ ・保育の計画の必要性かつ重要性を理解する。 ・計画の作成手順を知り、指導案を作成する。(保育所保育指針からの展開の仕方) ・指導案作成後、保育を展開する。 | | | |
| 授業の概要 ・保育所保育指針より、作成方法を実際書きながら覚える。 ・作成に付随する、ことばの意味を再度確認する。 ・「子どもの最善の利益」「全国保育士倫理綱領」について再確認する。 ・保育形態による指導案作成があることを知らせ。留意点について知らせる。 | | | |
| 授業計画 | | | |
| 1 | これからの授業方法について ・自分を理解しよう。 | | |
| 2 | 保育とは 「子どもを育てる時のポイント及び保育所保育指針を再度理解する。 | | |
| 3 | 保育所に求められる役割をきちんと理解する。 | | |
| 4 | 保育の専門性・応答的保育等について | | |
| 5 | 「保育士に課せられている倫理について知る」 | | |
| 6 | 保育と法「してはいけないこと・しなければならないこと」等について理解する。 | | |
| 7 | 保育所保育指針の要点・発達と保育のねらい「保育所における教育の位置づけ」 | | |
| 8 | 発達と保育のねらい「発達と保育のねらいの相関性について」 「養護と教育について」演習「1歳児6月のねらい」 | | |
| 9 | 保育の計画作成：保育計画作成の流れを理解する(プリント) 「目標・ねらい・内容・環境構成・予想される子どもの姿・保育者の援助・反省」の意味と作成順番の意味を理解する。 | | |
| 10 | 同 上：指導計画(年間) | | |
| 11 | 同 上：指導計画(月案) | | |
| 12 | 同 上：指導計画(日案) | | |
| 13 | 同 上：保育実践(日案による保育を展開する) | | |
| 14 | 同 上 | | |
| 15 | まとめ 定期試験 | | |
| テキスト なし(プリント配布により授業を行う) | | | |
| 参考書等 全国保育士倫理綱領 ・子どもの最善の利益 | | | |
| 評価の方法 保育実践 ・提出物 ・定期試験 | | | |